

全国憲法研究会主催

2010年度 憲法記念講演会（その2）

2010年5月3日

憲法記念日である5月3日、明治大学アカデミーホールで全国憲法研究会主催による憲法記念講演会が開かれました。

森 英樹 氏（龍谷大学教授）

『「二つの法体系」の原点と現点—現行安保条約50年にあたって』

まず、森教授は「二つの法体系」とは、最高法規の憲法とは別に、日米安保条約がもう一つの最高法規であるかのようにそびえ立っている現状を指している」と述べ、こうした相矛盾する状況を解消することが、現在焦眉の課題であると述べました。

戦後、日米安全保障条約の内実が冷戦構造の中で肥大化し、さらに、冷戦が集結した後も、連動するかのごとく湾岸戦争が勃発、9.11テロからアフガニスタン・イラク戦争と、日米の軍事関係がより密接になっていく流れを話されました。

そして、この矛盾した状態を解決するためには、安保体系ではなく、憲法体系による一元化を実質化すべきであるが、「日米同盟」と言われる日本社会、特に権力は思考が停止して、かんぬ

きがかかってしまう。これは、戦前の「国体に反する」と言うのと同じレベルの思考状況です。このような現実を主体的に主権者が解消すべき時期であり、「今年は大逆事件・韓国併合から100年、日米安保条約改定から50年、日独伊三国同盟締結から70年の節目の年です。軍事同盟が悲劇をまねくことをこれを機会に考えてください」と述べました。

講演のさいごに、「私たちが歴史に真摯に学び、自由に考え表現し主権者として自由にふるまうことができるようになるならば、9条を持ち、被爆体験を持つ日本では、国際紛争を軍事力で解決することの愚かしさに、心の底から気付き、9条に磨きをかけることになるのではないか」と指摘されました。

「心の底」という言葉には、「わたしたちは心の底から気づいていないのではないか」という問い合わせられているのではないかでしょうか。憲法、そして9条というステキな『玉』をただ飾っておくだけではなく、自ら磨いてこそ光を放つようになる—わたしたちは、そのために何ができるのか、考えさせられる講演でした。（T本）

開校!! マガジン9

憲法と軍隊～日本と韓国から考える～

2010年6月26日

憲法と社会問題をウェブやメルマガなどで考
える「マガジン9条」が、今年5月12日に「マ
ガジン9」としてサイトをリニューアルし、「リ
アルな場での交流を手がけたい」という趣旨のも

と、「マガ9学校」を開校し、上記タイトルで第一回の学校が開かれました。

はじめに、伊藤真氏（伊藤塾塾長、HuRP副理事長）が基調講演し、「どんな正しい目的を掲げ



伊藤真氏（伊藤塾塾長・HuRP 副理事長）

ても、戦争はしてはいけない、これは譲れません。加害者が被害者に、被害者が加害者になってしまふ暴力の連鎖を断ち切らなければ、世界は滅んでしまいます。「キレイ事」と言われてもいい。キレイ事を掲げる事ができるのが人間なのです」と述べました。

また、「アジアにおける9条」の実現のため、「9条をアジア全体に広めることは長い道のりですが、9条をもつ国として隣国との信頼関係を築き、安保条約に替わる仕組みを作っていくことが求められます。そして、軍事力を小さくしていくためには、反比例して別の力、外交力や組織力などを養っていかなければいけないと思います」と述べました。

伊藤氏、作家の雨宮処凜氏、キム・ソンハさんによるパネルトークでは、キムさんが韓国の徴兵制度について、徴兵を拒否したり忌避したりすると就職がとても困難になるなど、社会的に不安定



左からキム・ソンハ氏、伊藤氏、雨宮処凜氏

になる現状に疑問を投げかけました。また、2008年BSE牛輸入問題で、韓国の女子高校生のデモからはじまり、ソウルで10万人のデモに発展したキャンドルデモの様子を、動画投稿サイトの動画を解説しながら説明してくれました。

質疑応答では、「日本と韓国の青年について、日本の青年に霸気がないのではないか」という意見にキムさんは「私も含めて、韓国の青年がみな霸気があるわけではありません。私は姿勢も悪いですし（笑い）。ただ、韓国の青年は言いたいことははっきりと言います。日本の青年も、言いたいことは言ったほうがいいと思います」と答えました。

「自分には霸気がない、姿勢が悪い」と話していたキムさんでしたが、自分と社会について考える姿勢はとてもしっかりしており、日本の青年ともっと話してもらいたい、と思いました。（T司）

人権・平和に関するニュース

「慰霊の日」各地で平和を誓う 沖縄戦終結65年目

沖縄では23日、65年の「慰霊の日」を迎えました。最後の激戦地だった糸満市摩文仁の平和祈念公園では、県などが「沖縄全戦没者追悼式」を開催。遺族ら約5500人が、悲惨な地上戦で命を奪われた約20万人の犠牲者を悼み、恒久平和を

誓って黙とうをささげました。

また、北の大地、北海道でも、札幌市中央区伏見の沖縄戦英霊記念碑前で北海道沖縄会が慰霊祭を行い、遺族ら約500人が、戦没者約1万8000人の名前が刻まれた記念碑の前で黙とう、冥福を祈りました。

国連総長が広島後の長崎訪問も検討

国連外交筋は18日、潘基文事務総長が広島市で8月6日の「原爆の日」に開かれる平和記念式典に国連総長として初出席した後、長崎も訪問する方向で調整していると明らかにしました。

四国反核平和マラソン「核のない世界」アピール 30人が参加

核廃絶のメッセージを掲げて走る「第2回四国

反核平和マラソン香川コース」（香川県実行委員会主催）が12日になり、市民ら約30人が参加。高松市役所から県立丸亀競技場まで約32.8キロを、たすきをつないで走りました。

反核平和マラソンは、被爆65年となる今年、全国16カ所で開催されます。「平和だからこそスポーツができる」と、徳島県から愛媛県まで約250キロを市民ら約130人が走り継ぎます。

戦前戦後、社会的弱者のためにたたかった弁護士

「弁護士 布施辰治」紹介

◆『弁護士 布施辰治』

<http://www.nishida-shoten.co.jp/>

大石進 著

2010年3月発行:四六版/316ページ

ISBN:9784888665247



「私は、祖父を、愛をもって語ることが出来るようになった」

戦前戦後、常に社会的弱者とともに闘い、韓国・建国勲章を受章した唯一の日本人布施辰治、その圧倒的な人生を、孫にあたる著者が書き表した渾身の評伝です。

法律家とは、弁護士のあるべき姿とは何か。布施辰治の生涯が、それを鋭く問いかけます。HuRPでは、この本の普及をしています。ぜひ、お読みください。

ご購入は、こちらにご連絡ください。

特定非営利活動法人 人権・平和国際情報センター

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室

TEL/FAX 03-3234-3231 E-Mail hurp@hurp.info

西田書店

また、布施辰治の激動の生涯を綴ったドキュメンタリー映画「弁護士 布施辰治」の上映会が、東京の各地で行われます。ぜひご覧ください。

YMCAアジア青少年センター スペースホール

2010年7月2日(金)

2010年7月3日(土)

会場：東京都千代田区猿楽町2-5-5

主催：「弁護士 布施辰治」製作委員会 お問合せ：TEL 03-5840-9361

あうるすぽっと

2010年7月10日(土)

会場：東京都豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル2F・3F / TEL03-5391-0751

主催：在日朝鮮人・人権セミナー・在日本朝鮮人人権協会

お問合せ：TEL 03-3837-2820 mail:jinken94@yahoo.co.jp

座・高円寺2

2010年7月16日(金)

会場：東京都杉並区高円寺北2-1-2

主催：「韓国併合」100年と教科書問題を考える実行委員会

お問合せ：TEL 090-9975-9356(小島)

平和な休日へのほほんのほ子のカフェ散歩～ 第3回：池袋「三原堂」

<http://www.ik-miharado.shop-site.jp/>

本日、ご紹介するのは、池袋西口からすぐのところにある「三原堂」です。江戸川乱歩もかつて通ったというお店で、外観も内装も、ごくシンプル、いかにも昔からの和菓子やさんといった趣です。

老舗だからか、のほ子が伺ったときは、年配のお客さんが多かったです。のほ子は、あん白玉（700円）をいただきました。あんこも白玉もたくさん入っていて、クセのない、食べやすい味でした。今回は、いただきませんでしたが、おもちワッフルとか抹茶ブリュレとか、昔からの甘味に加えて、新商品も開発なさっているようです。塩せんべいが有名だとか。（甘味処のみ木曜日定休、18時閉店）



◆ちょっと寄り道

ご紹介した三原堂さんは、乱歩のエッセイ集『うつし世は夢』（講談社文庫）の中に「三原堂の菓子」というタイトルで出てきます。その乱歩の邸宅が立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センターとして公開されています。公開は、金曜日のみ、予約が必要です。近くには、ミステリー文学資料館もあります。日本近代のミステリー作品を産んだ街を散策してみるのは、どうでしょう。

立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター
<http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/profile/facilities/edogawaranpo/index.html>

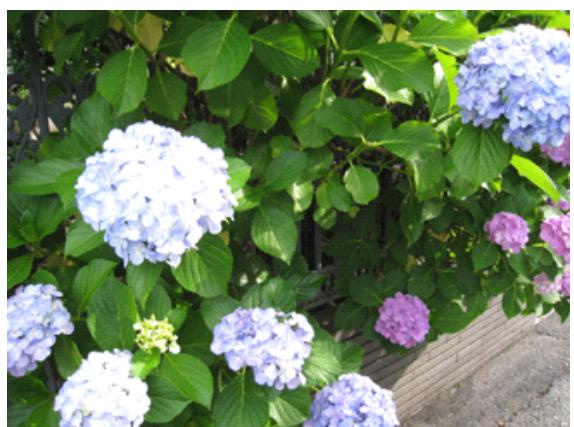
ミステリー文学資料館
<http://www.mys-bun.or.jp/>



いま、HuRPでは「大人の社会科見学」の開催を企画しています。「韓国と日本の歴史を東京に学ぶ（仮）」で、韓国と日本の歴史について東京にある施設を見学する予定です。行き先は高麗博物館～昼食～在日韓人資料館～枝川朝鮮学校（予定）です。詳細が決まり次第お伝えしますので、お楽しみに！

暑い中作業しておりますが、ふと上を見ると、「平和な休日」のすしげな写真があるので、たすかります。ただ、おやつを食べたくなる誘惑にかられてしまいますね。

（T本）



特定非営利活動法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP: ハープ)

Human Rights and Peace Information Center JAPAN (HuRP)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室 TEL&FAX 03-3234-3231
e-mail hurp@hurp.info HP <http://www.hurp.info/>